

まるい通信

発行人 町議会議員 高阪康彦 蟹江町蟹江本町字城142 TEL 95-2205 marui@e-marui.net

行財政改革を目指す 横江淳一 新町長誕生

期待しよう！

山田氏より祝辞を受ける横江氏



去る、3月27日の町長選挙に於いて、横江淳一議員が当選を果たし蟹江町の新町長に就任をしました。今回の町長選挙の特色は、議員が町長に就任した事と会派を越えた議員団が応援に回った事です。当町では、議員が町長になった例は最近ではありません。この事は行財政改革が叫ばれる今の時期には良い結果になると思われます。又そうでなければいけないと思います。現実に横江新町長は、自立する行財政改革の推進を公約にしています。

議員の経験を行政に十分生かされる事を望みます。次に超党派でまとまれた主な要因は、間際まで望まれる候補者の立候補がなく、時間ばかりが過ぎて行く状況で議会がその責任を取らざるを得なくなり、紆余曲折はあったものの議長に白羽の矢が当たり応援する議員がまとまり、後援会「未来の会」の立ちあげになった経過と、議員の中にも、交付金の削減等、**行財政改革をしなければならぬ**使命感があった事などが考えられます。

横江淳一氏は、私達、清新クラブの所属でしたので我々が応援するのは当然であります。が、「未来の会」発足のメンバーには、清新クラブ4人、新生クラブ3人、21フォーラム2人、無党派1人の10人が名を連ねました。会長は山田幹夫氏にお願いをし、選挙戦に入った訳であります。

選挙の結果は当然の結果でしたが無風を象徴し、投票率は33%の低率でした。

初登庁する横江新町長



さて、行財政改革を実施することは簡単な事ではありません。この3月議会でも議員の定数を16人に減員し、議会は身をもって行財政改革の先鞭をつけた訳ですが、役場職員の削減、意識改革・組織、仕事の効率化・各種団体の補助金の見直し等、議員も、住民にも意識改革が必要になってくると思われます。それには**情報の公開**が大切です。何故そうなのかと、住民が判断する材料(情報)を開示しなければ、なりません。このように、たいへん厳しい時期に船出をした新町長ですが、我々は与党として行く所存であります。私自信も、横江氏は、い

蟹江町長選挙投・開票結果

ろいろ一緒に行動を共にしてきた先輩議員、同僚でありました。全身で応援をし、町民の皆様が納得される行財政改革に与党議員の一人として頑張って行きたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

投票区	投票者数	投票率	投票区	投票者数	投票率
蟹江上	1,115	24.79%	今	750	27.56%
蟹江下	927	27.85%	藤丸	763	36.42%
舟入	645	35.15%	富吉	739	25.95%
新蟹江	1,253	31.51%	蟹江西	1,851	37.95%
須西	971	37.97%	期日前投票	492	1.71%
横江淳一	7,871	無効投票	302		
石原高志	1,333	合計	9,506	投票率	33.08%

3月議会より

☆平成17年度予算が提出され、一般会計は10・8%減(前年起債の借り換えがあつたので実質2・2%の減)の81億6千818万1千円の骨格予算に留め、新規、投機的な予算は新町長が補正予算で対応するようになっていきます。特別会計の予算も含め、167億9千647万7千円の予算が承認されました。

☆町民プールにケーニグズのアリーナK2(キッズ専用プール)を使用する事となりました。

平成17年6月～8月までの間で、土曜日、日曜日、祝日の27日間

土曜日(0時～4時)
日曜日(01時～71時)
祝日(01時～51時)
使用料 大人300円
子供200円

☆議員提案で蟹江町議会議員の定数が22人から16人に削減されました。選挙は2年後であるし、なぜ今変えなければいけないのかと云う意見、むやみに議員を減らすと住

民とのパイプが細くなると云う意見もありました。が賛成多数で可決。次回の選挙より実施されま

す。現在は1人減の21人で構成されています。☆総合行政化事業裁判の最終問題に関する特別委員会の調査報告が加藤正雄委員長から報告されました。主な内容として、

①行政執行者の責任については、「十分に責任を果たしたとは認めがたいが、一定の責任の取り方をした」と判断され、②再発防止策については

「現在、各課によって行っている見積もり及び契約などチェックする専門員による機関、検査室などの設置を検討する必要がある」と指摘。③業者を訴えた額が町の被った損害額であるのかについては、様々な意見があり委員会としては「結論が出ていない」と報告。④

議会の責任と問題点については「議員報酬の減額問題が提起されたが、反対の立場を表明した議員、議決に関与していない議員など様々な立場があり減額実施は不可能」議決機関の持つチェツ

ク機能が結果として十分果たせず残念である」と報告⑤結びとして「今後、当町の重要事業の推進に当たっては、これを一大教訓とし、再発防止策を十分考慮すべきことを痛感する」と結んだ。

職員に見送られ退庁する佐藤前町長



☆代表質問は各会派の6氏が行い、私は今回お休みを戴きました。詳しくは議会だよりを

少子・高齢化対策 成るか 医療費無料化

少子・高齢化の福祉として小学校6年生までの医療費無料化が検討されそうです。予算として8～9千万必要になるようですが、前向きに取り組むようである。近隣町村も実施しているので、期待をしても良さそうだ。

本町地区町名変更 アンケート実施 賛成63・9%

本町地区で要望がある、町名変更のアンケートを本町連合会を通じ町内会長にお願いをして、該当地域のアンケートを実施した。結果は思ったよりも反対が多いと感じる。これはまだ町名変更の本当の理解が得られていないと思う。

連合会も役員の方が多数変わられたので、又、始めからお願いをし、ねばり強く運動を継続したいと思っ

ています。ちなみに最近では、源才地区が学戸〇丁目に変更になりました。

新生クラブ解散

蟹江町議会の新生クラブ(8人)が解散届を提出し、解散をしました。町長選挙の応援体制が発端だと云われています。4月現在、奥田議員を中心として新しく「新政会」の名称で議員5人の登録があります。詳しい事は6月議会に報告があるとおもいます。

ご挨拶



町会議員 高阪康彦

桜の花が咲き誇る季節となりました。如何お過ごしでしょうか。この便りが届く頃には、もう桜も散っているかも知れませんが、桜の花の如く、時の移ろい

早さを感じるのは私だけでしょうか。さて私も、議員になり早くも2年が過ぎました。この間これと云った仕事を

したが、私なりに、住民と行政のパイプ役に徹し、頑張ってきたつもりです。これからの2年も基本的には変わる訳ではありませんが、私達の仲間から新町長が誕生しました。会派として、個人としても力強くバックアップをして行こうと思っ

ています。又、この事により私達の会派の影響力が大きくなつたと思われ